



市公式キャラクター
『エーナ』



所 管	まちづくり企画部交通政策課		
担 当	樋田 夏子	問い合わせ	0573-26-2111 (内線 424)

報 道 機 関 各 位

明智町の移動手段の見直しについて

恵那市地域公共交通計画に基づき、明智町の移動手段を地域住民の協力を得ながら見直しを行い、誰もが利用しやすい新たな移動手段を導入します。

このための事業費を9月補正予算に計上するので、お知らせします。

記

1. 概要

恵那市地域公共交通計画では、持続可能な地域公共交通ネットワークを形成するため、地域検討会と地域路線等の見直しを行うこととしている。

明智町では、昨年度より地域自治区運営協議会の安心部会をはじめとする地域住民の協力を得ながら移動手段の見直しを行い、誰もが利用しやすい新たな移動手段を導入することとする。

2. 現行と課題

明智町では阿妻＝横通線と明智＝峰山線の2路線の自主運行バスが運行されているが、小中学生の通学としての利用が大半で、高齢者を中心とした地域のニーズに合致していない。

このため、高齢者等が利用しやすい移動手段を確保することや小中学生の臨時通学など柔軟な対応等を整えることが必要とされている。

3. 見直し検討の体制及び経過

(1) 明智地域自治区運営協議会安心部会（委員 10 人）

令和3年度 2回開催

令和4年度 3回開催

(2) 明智町自治会長会議（自治会長 50 人）

令和3年度 1回開催

令和4年度 4回開催



4. 路線の再編

- (1) まちなか路線バス（決まった時間に決まった路線を走るバス）の運行
明智駅を中心とした中心地への通院と買い物が可能となる循環バス路線に変更する。
- (2) デマンドバス（予約に応じて、乗り合わせで運行するバス）の運行
週2日、周辺地域から明智駅を中心とした中心地への通院と買い物が可能となるバス路線に変更する。
- (3) スクールバスの導入
小中学生の通学は、自主運行バスからスクールバスに変更し、従来通りのルートを維持しながら、臨時便や目的外の運行など柔軟な対応を可能とした体制を整える。
- (4) 路線図（案）
別紙のとおり

5. 今後の予定

- ・令和4年9月 運行事業者の募集及び選定
- ・令和4年10月 地域公共交通会議
- ・令和5年4月 運行開始

6. 事業費（9月補正予算）

- (1) 車両購入（自主運行バス）
歳入 5,451千円（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金）
歳出 5,451千円（基幹交通対策事業費（移動））
- (2) 車両購入（スクールバス）
歳出 8,917千円（教育総務費）



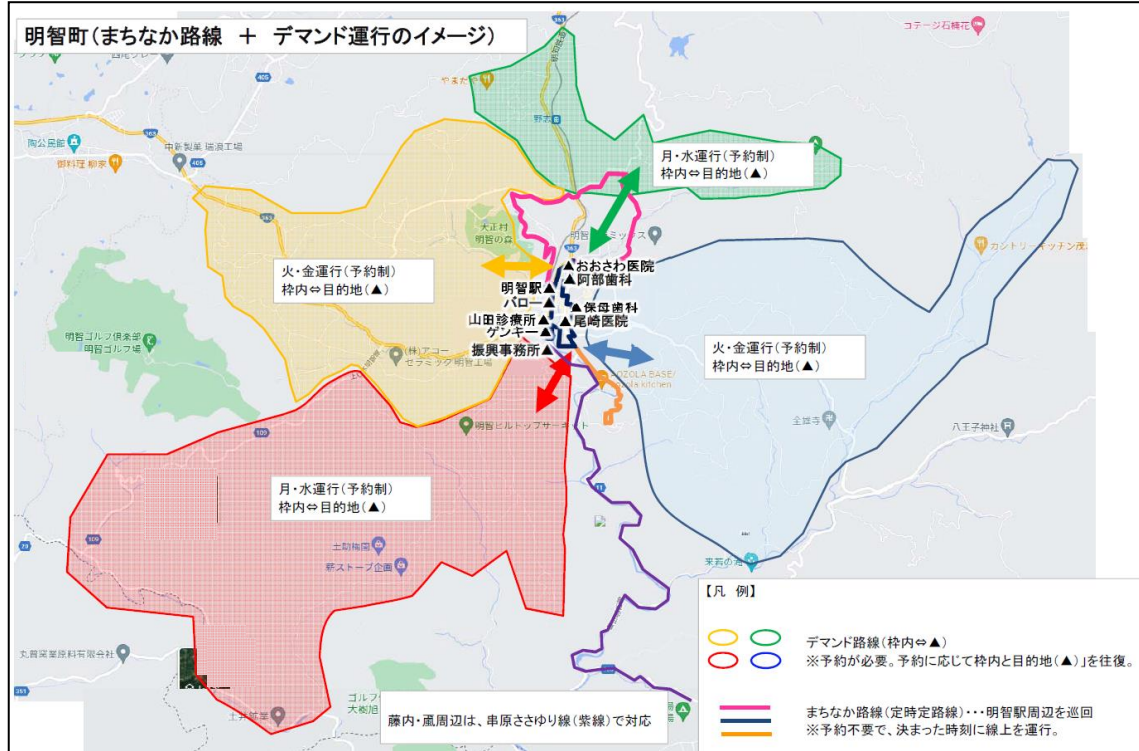
市公式キャラクター
『エーナ』



恵那市役所報道発表資料

令和4年8月19日

路線図 (案)



現行路線図、R5 スクールバス路線





市公式キャラクター
『エーナ』



恵那市役所報道発表資料

令和4年8月19日
